

子どもの「学ぶ力」育成プラン

家庭学習のすゝめ

～自ら考え、学ぶ子をめざして～



山の手南小学校

学校での学びを家庭でも生かせる力を

1年間 365 日を時間に換算すると 8760 時間になります。子どもの生活時間について考えると、8760 時間から睡眠時間を 10 時間として除くと、起きている時間は 5110 時間です。そのうち、学校で過ごす時間は 1400 (200 日×7 時間) 時間です。学校と家庭の時間を比べると、3 (学校) : 7 (家庭) となり、ご家庭で過ごす時間が多くなります。

私たち学校は、あくまでも子育ての一端を任わせていただくことしかできません。お子さんに学ばせるためには、ご家庭のお力が必要不可欠なのです。

本校のこのような取組の方向性は、札幌市の教育が目指す姿と符合します。

「学ばせる力」の育成に向けた五つのポイント

さっぽろっ子の課題の改善を図るために設定したのが右の五つのポイントです。三つのススめを活用し、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育みます。

- 1 難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。
- 2 「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。
- 3 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。
- 4 自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。
- 5 生活を自らコントロールする力を育みます。

【着眼点③】学校・家庭が一体となって子どもの学びを支える

6 の値が増加していることから、家庭の学習においても端末の活用の充実が効果的と考えられるが、18、19、13 の値が低いことから、子どもが自分で計画を立てたり、端末の使用について自ら調整できる力を育むことが大切であると考えます。「さっぽろっ子『学び』のススめ」や「ICT活用のススめ」を活用しながら、子どもの習慣づくりを支えたり、子どもが必要性を主体的に判断して端末を持ち帰って家庭学習を充実させたりできるように、家庭と連携して子どもの成長を促す関わりを進めていく。

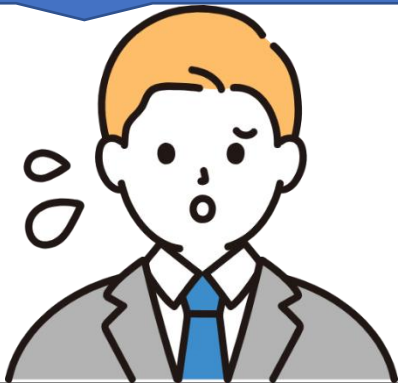
6	家庭で端末を活用することで、学習が充実している。	75.4%
18	1日の時間の使い方を自分で考えて生活している。	71.3%
19	自分で計画を立てて勉強している。	66.7%
13	授業以外で端末を使うときは、時間が長くないよう、使う時間の長さを自分で決めている。	68.1%

私たち学校も、お子さんの学ばせる力が伸びるように努めてまいりますので、ご家庭の皆様と連携をすることで、学ばせる力をグングン伸ばしていきたいと考えております。

中学年の取組例

学校が与えた「宿題」に加え、自分で必要な学習を考える家庭学習に取り組めます。テストに向けて、自分で計画を立てて取り組んでいる様子も見られています。

取組み始めたばかりなので、たくさんご紹介できずに申し訳ありません!!



テスト勉強
物の体積と温度

注意
 熱い湯を使うとき!
 ↓
 熱い湯に、手を入れたり、湯をこぼさない
 熱した金ぞう
 ↓
 冷たいに、ふれてはいけなく、水で冷やした後も熱いことがあるから、しばらくはさわらない。

体積の変わり方
 大 → 小
 鉄 → 水 → 鉄

あたためたり、熱すると体積大
 冷やされると、体積小

金ぞうは、あたためられるくらいしか、体積は変わらない!

高学年の取組例

その日に学習したことを復習しています。自信をもって学び進めるためには、曖昧なことを復習したり、予習をしたりして準備することが大切です。

数 P.167

① $\frac{21}{100}$ ② $\frac{12}{1}$

① $\frac{1}{10} > \frac{3}{100}$ ② $\frac{17}{10} < \frac{18}{10}$ ③ $\frac{2}{5} < \frac{5}{10}$

④ $0.2 + \frac{7}{10} = 0.2 + 0.7 = 0.9$

ステップアップ

① $\frac{7}{10}$ ② $\frac{45}{100}$ ③ $\frac{161}{100}$ ④ $\frac{15}{100}$ ⑤ $\frac{17}{1}$

① $\frac{9}{7} > \frac{12}{100}$ ② $\frac{7}{2} < \frac{295}{100}$ ③ $\frac{9}{11} < \frac{88}{100}$

今日授業で学んだことを復習できたね!

歴代内閣総理大臣

回数	初代	伊藤博文	在任日数
初代	伊藤博文	544日	
2代	黒田清隆	499日	
3代	山縣有朋	461日	
4代	松方正義	1485日	
5代	伊藤博文	482日	
6代	松方正義	170日	
7代	伊藤博文	132日	
8代	大隈重信	711日	
9代	山縣有朋	204日	
10代	伊藤博文	1681日	
11代	桂太郎	920日	
12代	西園寺公望	1143日	
13代	桂太郎	480日	
14代	西園寺公望	62日	
15代	桂太郎	421日	
16代	山本権兵衛	908日	
17代	大隈重信	721日	
18代	寺内正毅	1133日	
19代	原敬	212日	
20代	高橋是清	440日	
21代	加藤友三郎	128日	
22代	山本権兵衛	579日	

家庭学習の約束

★丸付け⇒直しまでが学習

- ・低学年は、保護者のご協力をお願いします。
- ・中学年以上は自分で丸付けをすることで、すぐに改善することができます。

★毎日学校に提出します。(学習習慣を付けるお手伝い)

- ・保護者のサインやスタンプをお願いします。

*学校だけでは学習習慣は付きません。保護者の方の励ましやアドバイスがお子さんの成長を促します。ご家庭のご協力をお願いいたします。

★学校では、お子さんの頑張りを認めていきます。

- ・おすすめの学習内容や学習方法を紹介します。
- ・家庭学習の計画(放課後の過ごし方)を学校で時間をとって立てる時間を設けます。
- ・提出の印として、スタンプやサインをします。
- ・家庭学習ノートを紹介する場や見合う場をつくれます。

*学校としては、「『学習する習慣がある』」ことを大切にしたいです。家庭学習ができない日もあるかと思いますが、放課後の過ごし方の計画を立てて振り返ってください。

4月9日

今日は、塾に行きました。
4年生の漢字を忘れていたことが分かったので、しっかり復習をしていきます。

4月10日

算数のワークを3ページやりました。
わり算のケアレスミスが多かったので、ケアレスミスをなくせるように確かめ算をしっかりとしました。

～夏休み・冬休みの家庭学習について～

夏休み・冬休みに取り組む「家庭学習」を、『**スペシャル家庭学習**』とします。
長期休業中も宿題としての一律の学習ではなく、自分に必要な学びを進めていきます。また、長期休業中だからこそ取り組める学習や研究、追究にもぜひ挑戦してほしいと思います。

例えば・・・

- 読書感想文に挑戦する。
- 公園の様子（利用者や遊具など）を調べ、地図にまとめる。
- 植物の成長観察記録をつける。
- 本立てなどのものづくりに挑戦する。
- 料理の記録をつける。
- 縄跳びの回数を記録していく。

*漢字計算ドリルを活用し、繰り返し練習問題に取り組むこともできます。

